

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	所沢村山線道路築造事業	所管	道路公園部計画道路整備課
			TEL 2998-9377

事業目的 (何の為に 行うか)	所沢駅西口の交通渋滞の緩和を図る。
-----------------------	-------------------

事業の 具体的 な内容	計画 全体	所沢駅西口～県道東京所沢線まで、延長650m、幅員20mの道路を築造する。 用地買収面積13,918.69㎡ 地権者116名
	平成 19 年度	工事内容 : 電線共同溝工事、街路灯、植栽、道路築造工事

事業の 推進状況	進捗 率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		用地 95%	用地94% 工事84%	用地98%	用地100%	工事100%		平成 22 年度
	見込まれる総事業費(千円)		6,752,040		事業開始からの累計額(千円)		6,254,492	

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	559,807	329,019	362,837	1,070.1

成果 (結果とし てどうなっ たか)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	移動時間	吾妻公民館→所沢駅(往復平均)ルート 市道5-1号線→県道東京所沢線→県道久 米所沢線経由	単位 分	9 単位 分	単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ 有り * 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り (増額 減額 休止 終了) * 無し

今後の 方向性 (二次評 価の意 見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了	
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし * その他〔計画通り推進〕 終了
	予算	現状どおり 増額 * 減額 終了

平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当 部課	部課コード	070300	TEL	2998-9377
事業コード	所沢村山線道路築造事業		道路公園部計画道路整備課			
070301		グループ	用地担当工務担当			
開始年度 平成 13 年度 → 終了年度 平成 22 年度						
事業の種別	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度	
根拠法令	都市計画法、道路法					
分野別計画・指針						
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	3節 道路	中柱	2 幹線道路の建設
					小柱	(2)市内幹線道路の建設推進
H19市民意識調査における施策の順位		…43施策中 10 位		実施計画における位置づけ… H19 A H20 A		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード						
事業開始の背景						
所沢駅西口へのアクセスは県道久米・所沢線1路線しかなく、慢性的に渋滞している。所沢村山線を整備することにより、交通渋滞の緩和を図る。また、電線共同溝を整備することにより安全で快適な歩行者空間の整備を図る。						

②事業内容	
目的(何のために行うのか、具体的に)	所沢駅西口の交通渋滞の緩和を図る。
事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応	土地価格の変動。これに合わせて適切に対応している。
事業の具体的な内容及び実施方法	計画 所沢駅西口～県道東京所沢線まで、延長650m、幅員20mの道路を築造する。 全体 用地買収面積13,918.69㎡ 地権者116名
H19	工事内容 : 電線共同溝工事、街路灯、植栽、道路築造工事

③事業の推進状況	事業の進捗率(%)	総事業費(予)(千円)
	～平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 終了予定年度	
	用地 95% 用地94% 用地98% 用地100% 工事100%	平成 22 年度 6,752,040
	解決すべき課題とその対応策	H19までの事業費累計(千円)
	代替地の確保、代替地申し出制度の活用。	6,254,492

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		884,912	559,807	253,368
	決算(見込み含む)		653,686	329,019	
	正規職員人件費	3.70 人	34,040	3.60 人	33,818
	公債費				※「財源内訳」について平成19年度のみ、当初予算の内訳となっており、「正規職員人件費」「公債費」はふくみません。
	事業費合計		687,726	362,837	
	財源内訳	一般財源	493,776	115,837	203,368
		国・県支出金	193,950	247,000	50,000
		受益者負担金	承認		
		市債			
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		2,035.4	1,070.1	

⑤指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標
	成果分析	移動時間	吾妻公民館→所沢駅(往復平均) ルート市道5-1号線→県道東京所沢線→県道久米所沢線経由	分	目標値		
					実績	9	9
標	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	県道東京所沢線、県道久米所沢線が渋滞しているため、所沢村山線の開通により成果が表れるため、上記ルートを設定した。実施日平成19年7月4日午前9時から、所要時間:往復19分 復路分 平均 9 分					

⑥一次評価	評価項目	評価内容		
	妥当性	事業の優先度・緊急性 慢性的に渋滞している県道東京所沢線、県道練馬所沢線、県道久米所沢線からの抜道として、生活道路に流入する車輛が多く、周辺住民にとって非常に危険な状態であり、本路線の早期整備が必要である。		
	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み 事業区間を定め早期開通を目指すことにより、効率化を図る。		
効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較 交通渋滞の緩和を図る。費用便益分析では、費用を上回る便益が見込まれる。			
H 20	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
目標設定	残りの用地を取得目標とする。	取得後、工事に着手できるよう積算準備をする。		平成21年3月末
評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り → <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し →	方理由性及び今後の	工事を84%完了しているため、用地取得後は直ちに残りの工事を進める。
	事業実施方法の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り → <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し →	の	地権者のご理解ご協力のもと引き続き進めている。
総合評価	し総の事業必要性見直し理由	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了)		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し
		早期開通を目指して、全体の84%が完成しているため、当初計画の事業費の中で対応する。		
	評価日	平成20年5月23日	記入者職氏名	計画道路整備課 課長 増田邦男

⑦二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input checked="" type="checkbox"/> その他〔計画通り推進〕 <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
事前評価	部内優先順位…	1 位 非常に高い 高い やや低い 低い
	優先度	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	見込まれる総計	総合計上位目標 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	貢献度	市長マニフェスト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
評価理由	地権者の意向を踏まえて実施する事業のため、計画的な推進が困難な部分はあるが、駅中心に位置する交通渋滞緩和の効果や、事業進捗を考慮し、可能な限り円滑な事業完了に向けて取組まれるよう「その他(計画通り推進)」「減額」とした。	
評価日	9月1日	

⑧外部評価	《外部評価の実施》	H19 <input checked="" type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>	【下記は平成19年度に実施した評価及び対応です。】
	評価	・市の中心となる駅の正面から延びる道路であるため、開通後のまちづくりや周辺の土地利用について市が総合的に取り組む姿勢を取るべき重要な区域である。道路担当のみではなくまちづくり担当との連携が必要である。 ・駅に近く、賑わいの演出という点からも、歩行者にとっての利用しやすさや雨水循環などの環境への配慮をするべきである。	
対応	駅周辺の骨格となる所沢村山線を整備することにより、今後のまちづくりへの取扱いが容易に運べると期待される。また、浸透施設・透水性のインターロッキングや道路のハリアー化などにより、人に優しい道づくりを進める。		

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	111	311	
施策体系	1-1大気汚染の防止	1-1-1自動車排ガス対策の推進			
	3-1地球温暖化の防止	3-1-1エコ・モビリティの推進			